



【発行所】

独立行政法人国立病院機構 岩手病院  
岩手県一関市山目字泥田山下48  
Tel : 0191-25-2221  
Fax : 0191-25-2157  
<https://iwate.hosp.go.jp/>  
発行責任者 櫻井 誠

## 新採用者研修 ～振り返り研修～

### 教育担当看護師長 菅原 美花

2月4日今年度最後の新採用者研修である「振り返り研修」を行いました。この研修は「その人らしさを支える看護とは」のレポートをまとめることで1年間の看護を振り返り、自分が大切にしている看護、自身の看護観について考え、次年度の目標を明らかにすることを目的としています。

研修当日は、1人ずつ1年間の振り返りを発表してもらいました。最初は日々覚えることだらけで不安と緊張でいっぱいでしたが、1年間患者さんやその家族、スタッフとの関わりの中で学び、たくさん悩み、看護師として成長したことが伝わる発表内容でした。「専門職としての自覚を持つことが出来た」、「経験の浅い新人看護師でも患者さんやご家族を支えることが出来ると実感した」、「患者さんとのコミュニケーションを大切にしていきたい」などの言葉が聞かれました。発表後にプリセプターから、新人一人ひとりに1年のがんばりをほめる言葉や、来年度へのエールの暖かいメッセージカードが贈られ、新人はとても感動していました。

また、次年度の抱負を漢字一文字で表し、その文字を選んだ理由を発表しました。患者さんが笑顔の多い生活を送れるように支えていきたいという思いから「笑」、人との関わりを大切にしていきたいという思いから「関」、患者さんやその家族に寄り添

える看護師になりたいという思いから「添」など、それぞれが選んだ漢字に様々な思いがこもっていました。自分自身の成長だけでなく、患者さんも含めた医療チームでの関わりを大切にしていきたいという思いが伝わる発表でした。



そして、研修の終わりには漢字一文字を持って新採用者全員で写真を撮りました(下図)。みんな良い笑顔ですね。来年度も新しい仲間が入って来ますので、岩手病院 ONE TEAM となり支援して行きたいと思います。



## 訪問看護はじめました

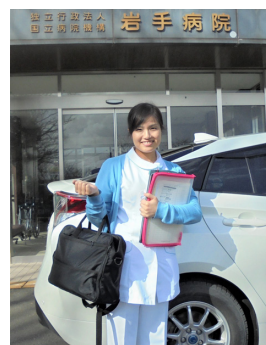
### 外来看護師長(地域医療連携係長) 佐々 知恵

岩手病院では以前より在宅診療は行っておりましたが、昨年10月に地域で療養している患者さんにご家族への支援をすることを目的として、訪問看護をはじめました。

当院に通院している患者さんで訪問看護を希望する方のところに看護師が訪問し、清潔ケア、内服管理、人工呼吸器・在宅酸素の使用法、経管栄養の使用法の指導、精神的ケア、家族指導などを行っています。訪問看護を始めたことにより、患者さんが病気を抱えながら地域で生活するためにどのような支援が必要か、地域の中でどのようなサービスを利用できるのか、また家族の方への支援の重要性

など以前よりも看護師は視野を広げ実践能力が向上しました。これまでの経験を活かし訪問看護の経験を積み重ねて、さらにより良い看護を提供していきたいと考えております。

これからも、患者さんご家族の方々が少しでも安心して住み慣れた地域で生活できるよう、医師、看護師ほか多職種と連携を図りながら、スタッフと共に支援していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



出発前の晴山看護師

## 院内カンファレンス ノロウイルス感染について

管理栄養士 星 佳織

12月12日の院内カンファレンスは、ノロウイルス感染をテーマとし開催されました。

ノロウイルス食中毒は、カキなどの二枚貝を食べることによる感染のイメージが強いですが、近年は調理従事者や配膳者がノロウイルスの付着した手指で食材を触ることによる集団感染が増えており、発生要因の8割以上を占めています。感染力が強いいためわずかな接触でも容易に感染し、大規模感



染を引き起こすことが考えられます。今回私が最近の傾向と感染経路、予防方法について講義し、看護部がノロウイルスの概要とDVDを用いた嘔吐物の処理方法を講義しました。

ノロウイルス食中毒予防の4原則は「持ち込まない」「拡げない」「つけない」「やっつける」です。これらには症状が出ない不顕性感染者がいることを前提として、普段から心がけることが大切です。しっかりと対策を行い、もし発生してしまった場合は迅速に適切に対応・処理を行い、感染拡大防止に努めましょう。

## 院内カンファレンス 情報セキュリティ研修

庶務班長 猪股 透公

1月16日の院内カンファレンスで、昨年11月に国立病院機構本部で開催された情報セキュリティ研修について、平川調剤主任と私が職員対象に伝達を行いました。



国内病院における事故事例の紹介に続けて、攻撃のタイプには①標的型攻撃メール、②ランサムウェア(身代金要求型ウィルス)、③サプライチェーン攻撃、④ビジネスメール詐欺などがあることを解説しました。また、情報セキュリティインシデントの発生には人的要因が圧倒的に多いので、「取り扱っ

ている情報の重要性を認識する」「個人情報の管理を適切にする」「不審メールには慎重に対処する」「情報セキュリティインシデントが発生しても慎重に対応する」「PW・メールアドレスの使い回しは厳禁」「USBメモリやDVD等は無くさない」「SNSの利用は慎重にする」という事項を意識するよう説明しました。

最後に、情報セキュリティにも標準予防策があり、正しい知識・行動は、患者を守り、自分を守り、組織を守ることにあります。意識することでセキュリティは普通の日常のことになる。自分ごと、我がごとであり、他人ごと、人ごとではない。普段からの意識が必要だという、本部担当者の話でまとめとします。

## QC手法研修に参加して

手術室・中央材料室看護師長 但木 淳子

1月31日、国立病院機構北海道東北グループ主催による「QC手法研修」に参加しました。

QCについて講義を受けた後、テーマ選定から対策の立案までグループ討議を行いました。私のグループは、手指消毒剤の使用量が少ないということがどの病院にも共通することだったので「1日1人当たりの手指消毒が100ml少ない」という問題



に絞って検討しました。特性要因図では、4M(人、器械、方法、材料/情報)の中で人に分類される項目が多いため、真因を探るのに時間を要しました。対策の立案では「消毒薬を使用する理由が理解できる」を目標とし、教育・意識・ルールを作ることをあげ、その対策を具体的に立案していきました。

QC手法研修に初めて参加し、メンバー全員が共通理解し取り組んでいくことが大切であることを学ぶことができました。今回学んだQC手法を医療・看護の質向上に活かしていきたいと思います。

## 接遇マニュアルについて

医療サービス向上委員会 佐藤 洋、齋藤 邦彦

医療現場における「接遇」とは目の前にいる患者さんが何を求め、何をしたいと望んでいるのか推察し、患者さんの喜びや不安、痛みや苦しみを想像して、その気持ちに寄り添い答えるために行動することです。

その第一歩として、医療サービス向上委員会で岩手病院独自の接遇マニュアルの作成に取り組みまし

た。内容は、すぐ実践に生かせるものとしていますので、日頃の自分の言動の振り返り、今後の患者さんや家族との対応、新採用者の指導等に活用してください。

誰からも愛される岩手病院を常に目指していきましょう。



## 脳卒中对策の食事 ～減塩リーダー養成講習会を受講して

栄養管理室長 佐藤 加奈子

一関市保健所主催の「減塩リーダー養成講習会」が開催され、12月17日（一関保健所）に室長、2月5日（千厩支所）に星栄養士が参加し、受講しました。



講義と調理実習が行われ、講義は岩手県・一関市をあげて取り組んでいる「脳卒中と減塩について」の現状と対策でした。

岩手県は収縮期血圧の平均が全国平均と比較し男女とも40～64歳で高く、脳卒中死亡率が平成22年と27年の調査で男性は全国ワースト1位→3位、女性はワースト1位→1位でした。男女とも依然として脳卒中死亡率が高い状況です。また、岩手県の脳卒中発症者は治療中断や未治療の人に多く、血圧が高い人に対し、病院へ行き治療するよう促すことが大事であるとのことでした。

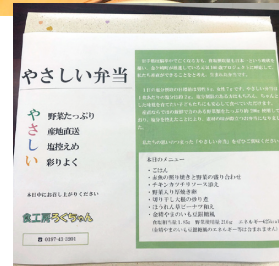
そして、脳卒中对策には「高血圧予防が最大のポイント」です。食事では「塩分を取り過ぎない、カリウムをとる、野菜・海藻・大豆・青身の魚を積極的に食べる」、症状・病気では「脳卒中危険因子～高血圧・脂質代謝異常症・糖尿病・心房細動～」に気を付ける、生活では「ゆとりをもつ、ストレスをためない、急激な温度変化に注意する」を心がけることが重要です。

調理実習は「体にやさしい減塩・適塩料理」と題し、国立循環器病研究センター「かるしおプロジェクト」の手法を取り入れたお弁当を作っている金ヶ崎町「産直ろくちゃん」の店長・加工部長を講師に迎えて行われました。「だし汁と八方だし」を用い、いかに「減塩で美味しいお弁当」を提供するかに工夫を凝らしたメニュー5品をグループで調理し、1食625kcal・食塩相当量1.85gのお弁当に仕上げました。グループには近隣の地域・飲食店・施設・病

院など様々な場所から、食生活改善推進員・栄養士・調理師など食に関わる職種の人達が参加し、楽しく実習できました。

昨年末に厚生労働省の「日本人の食事摂取基準」策定検討会が報告書を公表しました。これは2020年度から5年間使用するもので、塩分摂取の基準が男女それぞれ1日マイナス0.5gとなり（男性7.5g/日・女性6.5g/日）、さらなる減塩の取り組みが必要となります。

当院でも、今回学んだ岩手の現状と調理の工夫を取り入れながら減塩食の調理に力を入れ、入院患者さんに美味しい減塩食の提供と食を通した教育を行います。また、入院・外来の栄養食事指導を通して、減塩の推進・教育活動・脳卒中を含む病気の予防・治療に貢献していきたいと思っています。



## 職員紹介

①出身地 ②好きなこと ③何か一言

令和2年2月1日付採用



やまだ さおり  
山田 沙緒梨  
事務助手（地域医療連携室）

- ①一関市萩荘
- ②おいしいものを食べる
- ③1日も早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てられるよう頑張ります。

## 人事異動

【令和2年1月31日付】期間満了

佐々木 由美 医療社会事業専門員（期間等職員）

【令和2年2月1日付】配置換（転出）

千葉 舞 看護師 釜石看護師へ

【令和2年2月1日付】採用

山田 沙緒梨 事務助手

【令和2年3月1日付】昇任

佐藤 光 副看護師長（看護師から）

小野寺 香苗 副看護師長（看護師から）

藤森 早矢香 副看護師長（看護師から）

診療体制（令和2年3月1日現在）

| 診療科                                                                                             |            | 月                               | 火                      | 水                                                                | 木                        | 金                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------|------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 脳神経内科                                                                                           | 午前<br>(再来) | 豎 山                             | 工 藤<br>※物忘れ外来、<br>頭痛など | 千 田 (圭)                                                          | 千 田 (光)                  | 今 野                         |
|                                                                                                 | 午前<br>(新患) | 千田 (光) (第1、3)<br>今野 (第2、4)      | 阿 部                    | 豎 山                                                              | 小 野                      | 千 田 (圭)<br>ほか               |
|                                                                                                 | 午後         | ※HAL外来<br>今 野<br>(第1、3、5週)      |                        |                                                                  |                          | ※リウマチ科<br>千 葉 (実)<br>(最終金曜) |
| 呼吸器内科                                                                                           |            | 芦 野                             | 櫻 井                    | 芦野・森<br>(禁煙外来)                                                   | 櫻 井                      | 芦 野                         |
| 内 科                                                                                             |            | 櫻 井<br>予約者のみ                    |                        | 櫻 井<br>予約者のみ                                                     | 阿 部                      | 佐 藤 (良)                     |
| 外 科                                                                                             |            | 平 野<br>予約者のみ                    | 平 野<br>予約者のみ           |                                                                  | 平 野                      |                             |
| 小児科                                                                                             |            |                                 | 田 澤                    |                                                                  | 仙台医療センターから<br>(月2回 第2、4) | ※重症心身障害<br>大 沼              |
| リハビリテーション科                                                                                      |            | 佐 藤 (智)<br>※ボトックス外来、<br>AGA外来など |                        |                                                                  | 宮                        |                             |
| 歯 科                                                                                             |            | 佐 藤 (敦)                         | 佐 藤 (敦)                | 佐 藤 (敦)                                                          | 佐 藤 (敦)                  |                             |
| その他<br>※予約に関するお問い合わせは14:00～15:00にお寄せ下さい。<br>※専門外来は、すべて予約制です。<br>※予防接種は、火・木9:00～11:00に完全予約で行います。 |            |                                 |                        | ※心療内科<br>伊 藤<br>※消化器内科<br>仙台医療センターから<br>※アレルギー科 (第2週)<br>千 葉 (友) | ※皮膚科<br>東北大学から           | ※循環器内科<br>羽根田<br>(第1、3週)    |

職場紹介 — リハビリテーション科 —

リハビリテーション科のスタッフは、理学療法士12名、作業療法士6名、言語聴覚士5名の計23名、また医師はリハ専門医2名、担当医6名からなっています。

リハビリテーションの施設基準は脳血管疾患リハⅠ、運動器リハⅠ、呼吸器リハⅠ、障害児者リハ、歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）の認定を受けており、対象疾患は急性期・回復期・維持期を問わず、小児から高齢者まで幅広く、脳血管障害、神経筋疾患、骨関節疾患、呼吸器疾患、脳性麻痺、発達遅延などです。

入院中はもとより、退院後の在宅生活を見据えた治療が展開できるよう地域の医師会や福祉施設などと連携しています。医療連携にも積極的に取り組んでおり、脳卒中・大腿骨

頸部骨折の地域連携パスに参加し、回復期の役割も担っています。

これからも、スタッフ一同で地域に貢献できるよう努めていきます。

理学療法士長 佐藤 洋



【編集後記】 今年はや暖冬で過ごしやすいなあと気を許していたら、インフルエンザに罹患してしまいました。巷では新型コロナウイルスで騒がしいですが、1人1人が出来る事（手洗い、うがい、換気、加湿、食事、睡眠など）をして拡大させないようにいしましょう。（りんごっこ）